

R

f



daikanyama photo fair 2017

Dates | Sep 29 Fri — Oct 1 Sun, 2017

Opening Hours | 11:00–21:00 (11:00–17:00 on the last day)

Sites | Daikanyama Hillside Forum, Hillside Plaza

Organizer | Fine-Art Photography Association

fapa Website | <http://fapa.jp> © Risaku Suzuki 2017

PRESS RELEASE Vol. 2

August 24, 2017

d

29 September – 1 October, 2017

関連プログラム

代官山フォトフェア会期中、フェア会場であるヒルサイドテラスを中心に、関連プログラムを開催します。芸術写真と現代の私たちを取り巻く様々なキーワードをテーマに、トークやレクチャー、ワークショップを通して、芸術写真の根源とその先を探るプログラムを提供します。

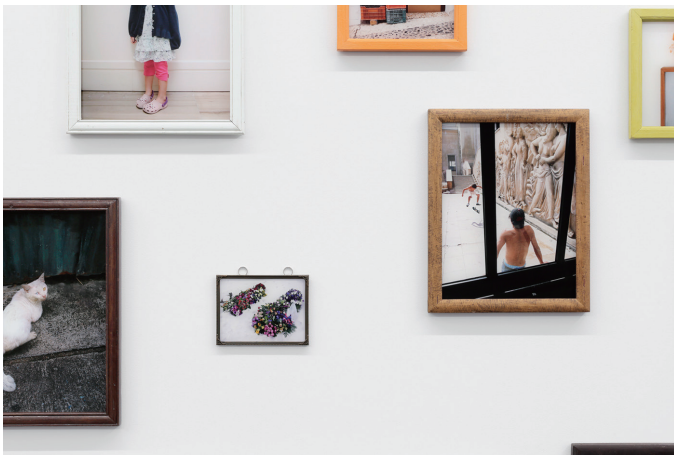


Photo: Shizune Shiigi

奈良美智

「Will the Circle Be Unbroken」

会期:9月29日(金)～10月1日(日)

会場:ヒルサイドプラザ

(東京都渋谷区猿楽町29 ヒルサイドテラス内)

入場料:無料(要フェアチケット)

一般社団法人日本芸術写真協会は、9月29日(金)から10月1日(日)まで、代官山フォトフェア関連企画として奈良美智の個展「Will the Circle Be Unbroken」を開催します。本展では、1980年代初頭から現在に至るまで、奈良美智が写真を介して描いてきた世界、同作家が国内外で展開してきた活動をこれまでにない視点から紹介します。

創作の日々や旅の記録をとらえた奈良による写真作品は、色彩により思い描くかたちに息吹を与えた絵画作品、醇乎たる思考をとらえたドローイング、形づくりの指の痕跡を内包した彫刻作品と同じく、もしくはそれ以上に、作家が走り続けてきた軌跡とその視線を無垢なイメージとして表出させます。掌でそっと掬い上げられたような写真群は、根源的な自我や幼い頃の原風景、培われた感性など制作の源に向き合いながら、常に未来へと向かう作家の真摯な姿のようです。

これらの写真群は、奈良の主題に抱く敬意、それらに見出した純粹さと真正さを表出しています。私たちはそこに作家自身、その記憶、制作行為、パーソナリティなど、創造行為における全ての側面をみることができます。作家が日々出会う風土、音楽、生命、歴史、風景、人々は、制作における深い内省と対話に伴奏するように、写真という普遍的な瞬間として、記録されてきました。本能的に捉えられ、フィルムやデジタル、iPhoneなどが等価に扱われた写真としての記憶は、まるで自分自身がいつか見た風景のように鑑賞者を作家が提示する旅へと誘うことでしょう。

「Will the Circle Be Unbroken」、 「永遠の絆」という展覧会タイトルには、奈良にとっての写真の重要性が提示されています。写真は単なる作品制作における素材であるだけでなく、作家の日々を語りうるものであり、他のメディア以上に、作家自身の感性を通じて、その経験や思考を作品に反映しうる重要なものでもあります。それは全ての作品において最もパーソナルなものであるだけでなく、全ての創造行為、そして、作品と作家をつなぐ、始まりも終わりもない円、絆といえます。その絶えざる絆から見える芸術写真の未来を、ぜひこの機会にご高覧ください。

photo fair

daikanyama

PRESS RELEASE Vol. 2
August 24, 2017

奈良美智

1959年青森県弘前市生まれ。美術家。1987年愛知県立芸術大学大学院修士課程修了。1988年ドイツ、デュッセルドルフ芸術アカデミーに入学、卒業後もケルンを拠点に作品を制作。2000年に帰国、以後精力的に作品を制作し、国内外の展覧会で発表を続ける。近年では2012年、個展「君や僕にちょっと似ている」が横浜美術館、青森県立美術館、熊本市現代美術館を巡回(2013年まで)。同年、個展「青い森のちいさなちいさなおうち」を十和田市現代美術館にて開催。2017年、豊田市美術館にて個展「奈良美智 for better or worse」を開催(7月15日～9月24日)。創作の日々や旅の記録を写した写真作品で知られ、写真集「the good, the bad, the average … and unique. 奈良美智写真集」(リトルモア)、「奈良美智写真帖 2003-2012」(講談社)を出版。

トークセッション、レクチャー

会場:ヒルサイドフォーラム、Exhibition Room

参加費:各回500円(3回券1,000円) ※Artist Talkのみ、無料・要事前申込み

定員:40名

お申し込み:当日先着順(フェア会場入り口にお集りください)

9月29日(金)

13:00 – 14:30 【Talk Session】 調文明 (写真史研究/写真批評)

× 長谷川新 (インディペンデント・キュレーター)

15:00 – 16:30 【Talk Session】 マンフレート・ハイティング (デザイナー/編集者)

× 金子隆一 (写真史家/写真集コレクター)

17:00 – 18:30 【Talk Session】 「1_WALL」 グランプリ受賞者スペシャル・プレゼンテーション

吉田志穂 (写真家) × 青木陽 (写真家) × 浦芝真史 (写真家)

× 佐藤麻優子 (写真家) × 田中大輔 (写真家)

19:00 – 20:30 【Talk Session】 石内都 (写真家) × 大澤紗蓉子 (横浜美術館学芸員)

9月30日(土)

11:00 – 12:30 【Lecture】 「写真 × 美術史」ダン・アビー (写真研究者)

13:00 – 13:45 【Lecture】 「『Provoke』展をつくる」

マシュー・S・ワイトコフスキー (シカゴ美術館写真部門主任キュレーター)

14:00 – 15:30 【Talk Session】 野口里佳 (写真家) × 平野啓一郎 (小説家)

16:00 – 17:30 【Lecture】 「アンセル・アダムスと近代美術館における写真部門の設立」

エリン・オトゥール (サンフランシスコ近代美術館アソシエイト・キュレーター)

18:30 – 20:45 【Screening】 小原真史 (映像作家/キュレーター)

× 四方田犬彦 (エッセイスト/批評家/詩人)

10月1日(日)

11:00 – 12:30 【Talk Session】鈴木理策(写真家) × 光田ゆり(美術評論)

13:00 – 14:30 【Talk Session】「日本の新進作家 vol.14 増殖する共振:無垢と経験の写真(仮称)」
丹羽晴美(学芸員/写真論) × 吉野英理香(写真家) × 鈴木のぞみ(写真家)

15:00 – 16:30 【Artist Talk】奈良美智(美術家) ※Artist Talkのみ参加費無料・要事前お申込み

ワークショップ:視覚障害者と写真家のためのワークショップ



写真の面白さを知りたい、技術を身につけたいという視覚障害者の方々と、写真をもっと突き詰めたい、新たな視点から写真を捉え直してみたいという写真家のためのワークショップ。撮影会の後、凸凹に浮き上がる特殊なプリントを用いてプレゼンテーションを行い、参加者それぞれが写真に対して新たな視点を持つ機会になることを目的としたプログラムです。

日時:9月30日(土)9:30 – 17:00(雨天決行)

会場:日本写真芸術専門学校, 渋谷・代官山周辺

参加費:無料(お弁当代として800円, 介助者の方は無料)

募集定員:写真家10名, 視覚障害者の方10名, 見学者10名

ワークショップモデレーター:尾崎大輔(写真家)

特別講師:小林美香(写真研究者), 菅沼比呂志(インディペンデント・キュレーター)

事前申し込み制:gginfo@waku-2.com(写真家, 見学者), info@daisukeozaki.com(視覚障害者の方)

募集締め切り:2017年9月15日(金)(写真家), 9月22日(金)(見学者, 視覚障害者の方)

photo fair daikanyama

PRESS RELEASE Vol. 2
August 24, 2017

キッズプログラム：写真絵本ワークショップ

講師に写真研究者である小林美香氏を迎え、さまざまな時代のカメラと写真が描かれた絵本を通して、カメラや写真の魅力を学び、体験する子供たちのためのワークショップです。代官山フォトフェア第一回目から継続されてきたキッズプログラムの第四弾として、様々な形で身の回りに存在する写真をクリエイティブに、積極的に楽しむヒントを学ぶことのできるプログラムです。

日時：10月1日(日)10:00 - 12:30

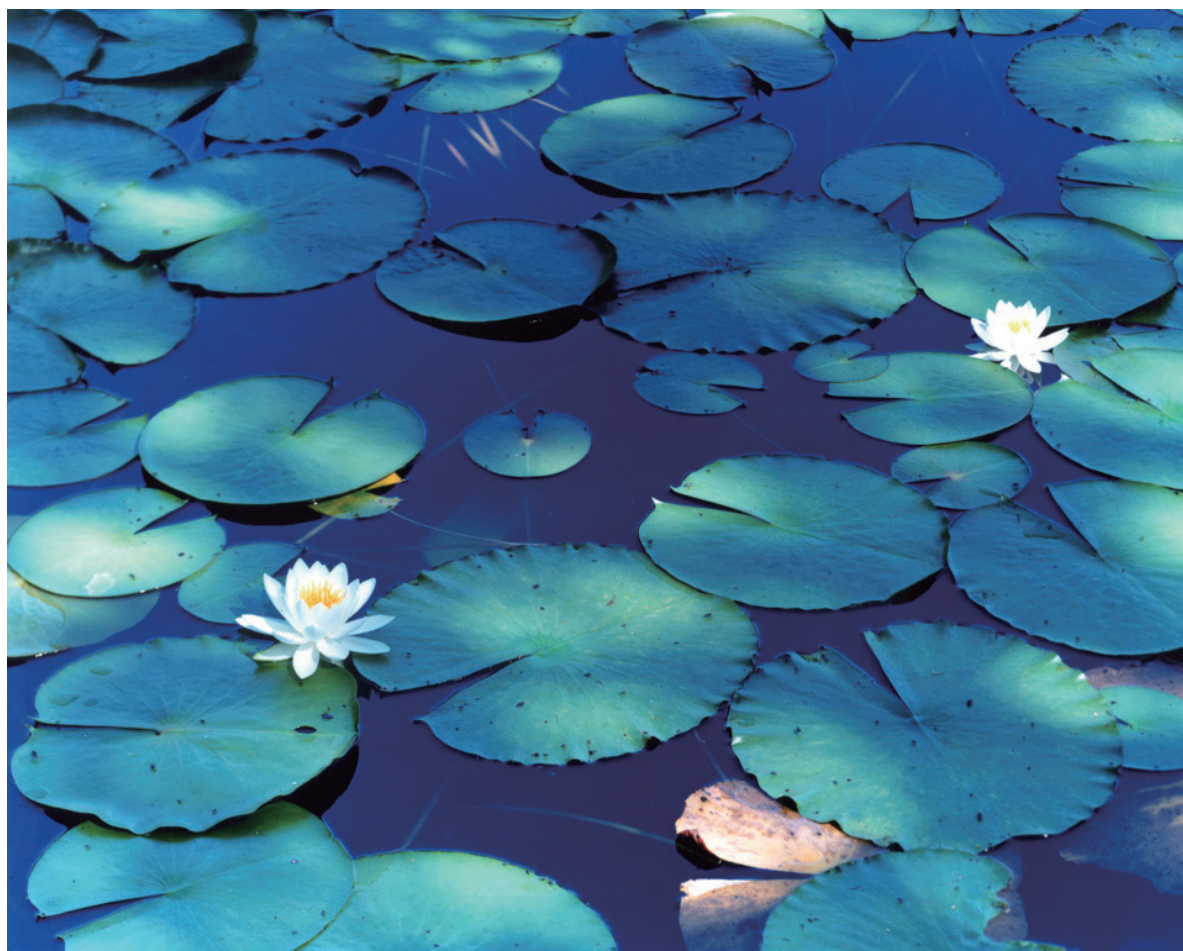
会場：ヒルサイドカフェ

参加費：2,000円

定員：10名

対象年齢：小学校中～高学年

お申し込み先：event@dpf.tokyo



© Risaku Suzuki 2017

「Magnify Photo」若手写真家育成プロジェクト

代官山フォトフェアでは、株式会社ジンス協賛のもと、若手写真家育成プロジェクト「Magnify Photo」を開催します。本企画は、カメラやレンズなどの技術を介する表現手段だからこそ表出できる、革新的かつクリエイティブな視座を若手写真家と共に作り上げる試みです。同時に、第一線で活躍してきた写真家、専門家達の視点を組み込むことで、将来の活躍が期待される次世代作家にとって飛躍の機会となる場を提供することを目的としています。

2017年6月28日から7月31日までの応募期間の間、650名を超える作品のご応募をいただきました。その中から、優秀賞8名(組)を選出、8月末、JINSおよび日本芸術写真協会ホームページで発表いたします。また、代官山フォトフェアの期間中フェア会場にて優秀賞受賞作品展を行い、グランプリ、JINS賞を各1名発表いたします。

テーマ: Magnify Life

審査員

- Matthew S. Witkovsky (シカゴ美術館/写真部門主任学芸員)
- Erin O'Toole (サンフランシスコ近代美術館/写真部門アシスタント・キュレーター)
- 鈴木理策 (写真家)
- 奈良美智 (美術家)
- 飯沢耕太郎 (写真評論家)
- 木村絵理子 (横浜美術館主任学芸員/ヨコハマトリエンナーレ2017 キュレーター)
- 田中仁 (株式会社ジンス/代表取締役社長)
- 石井孝之 (一般社団法人日本芸術写真協会/代表理事)

問い合わせ / Contact

代官山フォトフェア実行委員会

〒106-0032 東京都港区六本木5-17-1 2F

Tel: 070-1442-0501 / 070-1410-0501 E-mail: info@dpf.tokyo

プレス / Press: press@dpf.tokyo

イベント / Event: event@dpf.tokyo

ウェブ / Web: <http://fapa.jp/fair-2017/>

Follow dpf on Facebook ([facebook.com/daikanyamaphotofair](https://www.facebook.com/daikanyamaphotofair)), Twitter (twitter.com/dpf_jp), and Instagram ([instagram.com/dpf_jp](https://www.instagram.com/dpf_jp)).